ローズバーグ時報
LORDSBURG TIMES
ローズバーグ日本人收容所知事局
水曜日 十二月九日
第九二号

## フランコ将軍声明

### ヒトラー提唱を具体化し保守的欧州政策を高唱

倫敦八日UPは西班牙フランコ将軍がヒトラー提唱の欧州新組織の主旨に酷似せる声明をしたと報じた。右声明はマドリッドに於ける国粋党大会席上に於て『われ等西班牙は世界の西班牙に非ずして之を厳格に言へば欧州の西班牙である』と述べ『西班牙は西班牙の伝統を守って何等世界的趨勢に媚びて主権を左右する必要を認めず敢然自国の独立を固守する』ことにより後継者将来の幸福を保障すると結んで暗に厳正中立なることを確認した。

## グルー前駐日大使

### 国民の無自覚は禍を招くと

帰米以来寧日無く日本の国力を巡講中の前駐日大使グルーは昨日は市俄古に於て米国の危期到ると叫び米兵の父と母と妻と子と日本の国力の強固なることを熟知して後に前線の愛人を激励せよ日本を滅ぼすは米国人の自覚を第一とし自覚なき兵力は日本に対しては無力なるのみならず寧ろ災害を招くものだと論断した。

## 日本海軍主力大擴張

### 戦闘艦五隻外母艦数隻 続々進水した＝平出大佐

紐育七日APは日本海軍情報部長平出大佐の発表を通信して日本が拡張せし海軍力増加を次の如くと伝へた。平出大佐曰『我帝国海軍は日米開戦第一年に於て海軍主力拡張せし次の如き事実を発表するの光栄を有す。先づ実戦的最近の体験に即して近代的装置を加へたる母艦数隻、四万噸級戦闘艦五隻以上、二万五千噸級鉄甲型巡洋艦及び同級袖珍戦闘艦四隻以上は既に進水太平洋上に乗り出し更に一九四二年より建艦工事中の駆逐艦其他の戦艦は一隻又一隻と続々進水して居る』

日本大本営は今年の太平洋及印度洋戦に於て戦艦四十隻船舶六十五隻を失ひ更に戦艦二十二隻を破損した、右の中に戦闘艦一隻母艦三隻の沈没を含むと発表した。

## ツーロン自爆艦数

華府八日UPは佛国南岸ツーロン軍港に自爆せし戦艦の運命に就いて報告したがノックス海相の確認せし所では次の如くなってゐる。（独逸の入手）戦闘艦ルコアン二号一隻巡洋艦二隻駆逐艦三隻砲艦二隻潜水艦四隻タンカー五隻を含む合計十五隻、（港内沈没数）五十隻（逃出せし艦）潜水艦二隻英軍に入る。

## 猶太人惨殺調査

大統領ローズベルトは既報ワイズ博士の報告に據る猶太人二百万人の惨殺事件を重大視し新に調査委員を任命して戦時犯罪の事実調査を始めると云ひ我が米国人は単に感傷的なる同情に立脚せず戦時犯罪懲罰の要素を検討する必要ありと釋明して大にヒトラリズムを攻撃した。

## プロシヤ親王薨去

アイテル・フリードリッヒ親王（カイゼルの第四子）は十二月八日ベルリンに於て薨去した。享年五十九。

## 十二月九日の世界

■独逸の対赤露軍は新に決死最命を受けてベルキルキ並にスターリングラドに於て逆襲し又も各戦区を奪還したが死傷二千といふ。

■南太平洋に於ける戦況はソロモン方面詳報を欠きニューギニアに於てはマクアーサー空軍と日本艦隊とが相互各方面で衝突あるも大異なし。

■ダーラン提督は終にダカール港を聯合国の自由出入に任せ唯主権は絶対に佛国にありと附言した。

■アフリカ戦局は捗々しからず聯合軍は空襲によりてビザーテ、チュニス方面の独逸軍を牽制してゐる。

■テキサス州エルパソではガソリン統制に反対して終に各工場を一時閉鎖した。

■ノックス海相は国民の愛国心に訴へて海軍省の過去一ケ年間の過失を謝し然し凡ては善意の解釋に仍りて国民一致結束強敵に向ふべきを要請した。

■和蘭女王は世界大戦は徹底的に聯合軍の結束と各国同権の根本主張並に自由の国体と主権確護を高調した。

■マクアーサは今月に入って日本空軍がニューギニア半島で勢力復活せしを報じ空の要塞に仍りて其二十一機を破壊したと公表した。

■戦時捕虜新墨州クロービスのルイカート中佐は戦時捕虜となったといふ通牒を夫人が受けとったが当地方に知友多しといふ。

■智利特使来訪 ベルツラミ内相は近く華府に来りていろいろ智利将来の国防に関して協調する筈といふ。

○旧約聖書研究会
講師 鎌江牧師・日時 十日（木）午前九時半
場所 第十一中隊食堂

■紛失 九中隊大寮佐藤氏は便所内にてジレット安全剃刀を紛失した発見者に謝礼

■川柳課題（不細工）のメ切は今夕限りにつきお忘れなく第十一中隊二寮沙人迄。

# 日米開戦第一年史（一）

自一九四一年十二月七日 至一九四二年十二月記録抄

## 一九四一年十二月

（七日）日本軍パールハーバー襲撃。
（八日）米国対日宣戦布告。續いてホンヂュラス、ペーチ、サルヴアドル、グヮテマラ、パナマ、ドミニカン共和国対枢軸国宣戦布告。
日本軍ルソンに上陸。
日本軍バンコック占領。
（九日）マラヤ沖にて英国戦闘艦プリンスオブウエルスとレパルスの両艦撃沈さる。
（十一日）米国は独伊対米宣戦布告後数時間にして対独伊宣戦を布告す。
艦長ケリーはルソン沖にて戦闘艦榛名を沈む。
（十三日）日本グヮム島占領。
（十七日）日本軍ボルネオ上陸。
（廿二日）チャーチル華府に来る。
（廿三日）油船モンテベルは加州沖にて撃沈さる。此日ウエーキ島占據さる。
（廿五日）香港は十八日間戦った後終に陥落。
（廿八日）日本軍スマトラに上陸。

## 一九四二年一月

（二日）マニラ及カヴアイト島海軍根據地陥落。
（十一日）日本軍ニウセレベスを侵す。
（廿三日）日本軍ニウギニア及ニウブリテーンに上陸。マカサ海峡戦始まる。
（廿一日）シンガポール攻略戦始まる。（未完）

# マンザナ椿事詳報

## 死者一人重軽傷者九人

加州マンザナ七日附羅府タイムス特派員通信に據れば、前夜同地レセプションセンター居住一万の日本人間の騒擾死傷事件は戒厳令下に静穏の状態であると傳へた要項を抄記すれば約四千人の日本人が二派に分れ一派は日米開戦記念日を祝賀すると主張し他は米国守備兵等戦没者の霊に対し哀悼の式を挙ぐべしとて右に反対せしことが動機となって激論は乱闘となり保安武装隊が鎮壓に努力せしも双方共耳を籍さず已む無く発砲に及び一時鎮撫したが犠牲者は日本人一人死亡九人の重軽傷者を出した。急報と共に米当局は先づ警護隊を増派し右の反枢軸派を隔離した。同マンザナセンター総監ラルフ・メーリットは語る。

「土曜夜約一千人の日本国粋派が集りてパールハーバー萬歳を連呼し其中には帰米日系多く（元米国羅府市民協会理事フレド遠山が其の不適当なる行為を宥めんとして暴徒の襲撃を受け袋叩きとなり其手当を行ふ医師を妨げるといふ大騒ぎとなり其儘他地方へ運び出した一方赤枢軸派首領と目されるハーリー上野は収監される。

Dear Tomiko: Papa made a discovery this afternoon. No, it wasn't a new continent or a golden pot, either. It was a rent in my dear old gray coat. And, believe it or not, I mended it so nicely that I felt myself to be a regular seamstress—or mama. Now Tomiko, you ought to be proud of your papa. Don't you think? And tell mama that papa could take care of himself in such a wonderful way. Be careful not to catch cold, folks. Pretty cold, especially in the mornings. A thick frost makes everything sparkling white in the sunshine every morn.

## 英語だより（88）

長女へ

とみ子 パパは今日の午後、発見を一つした、といっても、新大陸でも、又は金（きん）の壺（ツボ）でもないんだが、それは、私のなじみの深い、古いあの灰色のコートに裂（ヤブレ）目を一つ発見したのだよ、ほんたうにするかどうか知らないが、とても上手に直したものだから、パパは裁縫女かーママのやうな気がしたっけ、パパも自慢にしたっていゝと思はない、とみ子や？ ママにね、パパはこんなに自分のことをスバラシクやってると話して頂戴、みんな風邪（かぜ）を引かないやうにすること、寒いよ、とりわけ朝はね、毎朝ひどい霜が下りて、何もかも日光でキラくと まっ白に輝くよ

## 第十一中隊役員

市長 笠井健治
副市長 近藤市九郎
会計並書記長 青木儀市
書記 飯野友尚
厚生部長 鎌江孝
作業部長 武田左文司（兼書記）
供給部長 前野邦三
郵便部長 清水幸二
運動部長 浜口貞吉
演藝部長 出野順造
第二寮長 沖山栄吉
第三寮長 神部利治
第四寮長 村田実馬
第五寮長 大角捨吉
第六寮長 平野周平
第八寮長 大寺望
第九寮長 安部万記
第十寮長 木原市松

○本日の基督教

一、聖書講義 マタイ傳二七章「十字架に渡さる、キリスト」 講師 渡辺牧師
二、祈祷会 司会者 鍋田席太郎「感謝して願ひを」（午后六時半より十中隊会場）

バラックをのがるゝ如く出で行けばひとやの屋根に月押し照れり
（岡本巡花）